

大阪の状況

2022.3.17

第4回「副首都ビジョン」のバージョンアップに向けた意見交換会

「資料1 世界経済のトレンドと日本の状況を踏まえた大阪経済の分析」P2

訂正前

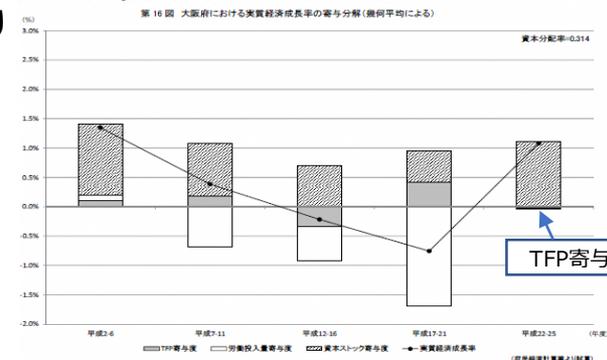
GDP(府内総生産)の動き

- 府内総生産は長期にわたり横ばいの状態。比較できる2006～2018年度の増減をみると、+0.77%
 - ・詳細にみると、リーマンショックにより、2006～2009年度は▲0.08%、この間、東京も同程度の▲0.07%
愛知は▲0.13% 2009～2018年度は+0.95%、東京も同程度の+0.97%、愛知は+1.94%
 - ・全国シェアは1970年には10%程度だったのが、近年は7%台で下げ止まり

成長の3要素(生産性等、労働・人材、資金・投資)の動き

- 大阪府と全国の1990～2013年度の実質経済成長率の寄与分解を行うと、大阪府・全国ともに、労働投入量が減少に寄与、資本ストックは上昇に寄与、全要素生産性(TFP)は上昇に寄与しているが、大阪府は全国に比べTFPの寄与度が小さい。

※前回提出資料2(9ページ)のグラフは日本の潜在成長率の寄与(投入量)



生産性等

- ・生産性が東京や愛知より低い

人口1人あたり県内総生産 (2018年度)

(東京都)	774万円
(愛知県)	543万円
(大阪府)	456万円

- ・産業構造が固定化

大阪府 (2006～2018年度)

(第一次産業)	0.05%→0.05%
(第二次産業)	22.3%→21.7%
(第三次産業)	77.6%→78.3%

- ・新規上場数で東京と大きな差

企業の新規上場動向 (2017年)

(東京都)	63社
(大阪府)	5社

- ・DXの進展やグリーン対応が緒に就いたばかり

- ・府民の幸福度が全国で低位

地域版SDGs調査2021 (順位/幸福度)

(沖縄県)	1位 (78.1)
(大阪府)	34位 (67.7)

など

労働・人材

- ・労働市場の流動性が東京より低い

転職率 (2017)

(東京都)	5.7%
(大阪府)	5.1%
(愛知県)	4.7%

- ・女性などの労働参加率が低い

女性の就業率 (2020)

(東京都)	57.1%
(全国)	51.8%
(大阪府)	51.2%

- ・外国人労働者は東京や愛知より少ない

外国人労働者数 (2020年10月末時点)

(東京都)	496,954人
(愛知県)	175,114人
(大阪府)	117,596人

- ・賃金が伸び悩み、男女の格差も大きい

一般労働者 (2007～2020) ※単位千円

(東京都)	370.6→373.6 (+3.0%)
(大阪府)	320.2→320.4 (+0.2%)
(全国)	299.3→307.7 (+8.4%)

など

資金・投資

- ・貸出金の全国シェアが低下

貸出金全国シェアの推移 (1981～2012)

(東京都)	約+0.5ポイント
(大阪府)	約▲4.4ポイント

- ・スタートアップの資金調達額が東京に比べ少ない

スタートアップ資金調達額 (2021)

(東京都)	6,531億円
(大阪府)	144億円
(愛知県)	38億円

- ・拠点開発の規模やスピードが東京に劣る

市街地再開発事業の「事業中」地区

(東京都)	45地区
(大阪府)	6地区

など

大阪の状況

2022.3.17

第4回「副首都ビジョン」のバージョンアップに向けた意見交換会

「資料1 世界経済のトレンドと日本の状況を踏まえた大阪経済の分析」P2

訂正後

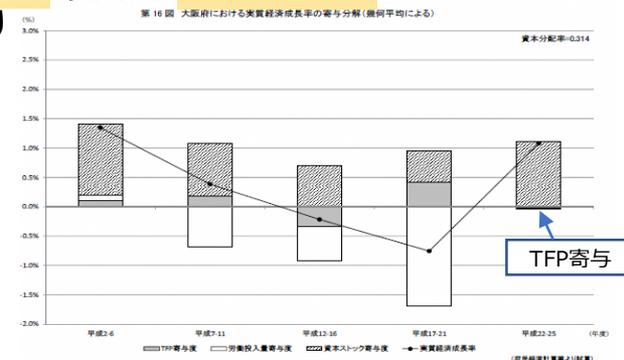
GDP(府内総生産)の動き

- 府内総生産は長期にわたり横ばいの状態。比較できる2006～2018年度の増減をみると、+0.77%
 - ・詳細にみると、リーマンショックにより、2006～2009年度は▲8.0%、この間、東京も同程度の▲7.0%
愛知は▲13.0% 2009～2018年度は+9.5%、東京も同程度の+9.7%、愛知は+19.4%
 - ・全国シェアは1970年には10%程度だったのが、近年は7%台で下げ止まり

成長の3要素(生産性等、労働・人材、資金・投資)の動き

- 大阪府と全国の1990～2013年度の実質経済成長率の寄与分解を行うと、大阪府・全国ともに、労働投入量が減少に寄与、資本ストックは上昇に寄与、全要素生産性(TFP)は上昇に寄与しているが、大阪府は全国に比べTFPの寄与度が小さい。

※前回提出資料2(9ページ)のグラフは日本の潜在成長率の寄与(投入量)



生産性等

- ・生産性が東京や愛知より低い

人口1人あたり県内総生産(2018年度)

(東京都)	774万円
(愛知県)	543万円
(大阪府)	456万円

- ・産業構造が固定化

大阪府(2006～2018年度)

(第一次産業)	0.05%→0.05%
(第二次産業)	22.3%→21.7%
(第三次産業)	77.6%→78.3%

- ・新規上場数で東京と大きな差

企業の新規上場動向(2017年)

(東京都)	63社
(大阪府)	5社

- ・DXの進展やグリーン対応が緒に就いたばかり

- ・府民の幸福度が全国で低位

地域版SDGs調査2021(順位/幸福度)

(沖縄県)	1位(78.1)
(大阪府)	34位(67.7)

など

労働・人材

- ・労働市場の流動性が東京より低い

転職率(2017)

(東京都)	5.7%
(大阪府)	5.1%
(愛知県)	4.7%

- ・女性などの労働参加率が低い

女性の就業率(2020)

(東京都)	57.1%
(全国)	51.8%
(大阪府)	51.2%

- ・外国人労働者は東京や愛知より少ない

外国人労働者数(2020年10月末時点)

(東京都)	496,954人
(愛知県)	175,114人
(大阪府)	117,596人

- ・賃金が伸び悩み、男女の格差も大きい

一般労働者(2007～2020)※単位千円

(東京都)	370.6→373.6(+3.0%)
(大阪府)	320.2→320.4(+0.2%)
(全国)	299.3→307.7(+8.4%)

など

資金・投資

- ・貸出金の全国シェアが低下

貸出金全国シェアの推移(1981～2012)

(東京都)	約+0.5ポイント
(大阪府)	約▲4.4ポイント

- ・スタートアップの資金調達額が東京に比べ少ない

スタートアップ資金調達額(2021)

(東京都)	6,531億円
(大阪府)	144億円
(愛知県)	38億円

- ・拠点開発の規模やスピードが東京に劣る

市街地再開発事業の「事業中」地区

(東京都)	45地区
(大阪府)	6地区

など